I-O DATA

取扱説明書

GV-SDREC

アナ ReC（アナレコ）

- お買い上げ時のレシート・領収書等は大切に保管してください。
  ご購入年月日の証明になります。
  詳しくは【ハードウェア保証規定】（50 ページ）をご覧ください。
- 【安全のために】、【使用上のご注意】を必ずご確認ください。
  （40 ～ 44 ページ）

便利な使い方

メニュー一覧

困ったときには

付録

B-MANU202211-01

もくじ

便利な使い方
メニュー一覧
困ったときには
付録

本書では、便利な使い方や困ったときの対処などを説明しています
以下の内容は別紙「かんたんガイド」をご確認ください

- つなぐ
- SD カードを入れる
- 記録（ダビング）する
- 再生する
- 不要な記録を削除する
- テレビリモコンでの操作について

便利な使い方

【記録（ダビング）編】

【再生編】

【その他】

【記録(ダビング)編】

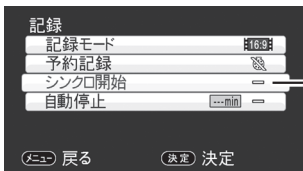
縦横比を変更する

ワイド画面 16：9 に対応した D-VHS テープなどをダビングする場合、縦横比を４：３ から 16：9（ワイド）に変更してからダビングすることをおすすめします。

以上で、設定は完了です。

自動で記録を開始・停止する

シンクロ録画を設定する

本製品に映像信号が入力されると、自動的に記録が開始されるように設定できます。

以上で、設定は完了です。

自動停止を設定する

つないだビデオ機器からの信号がなくなったときや、記録する時間の指定で、記録を自動的に停止するように設定できます。

1 [記録モード] 時に メニュー を押す

2 [記録] を選び、決定 を押す

3 [自動停止] を選び、決定 を押す

4 [経過時間] または [シンクロ停止] を選び、決定 を押す

※ [経過時間]、[シンクロ停止] は、同時にどちらも設定しておくことができます。

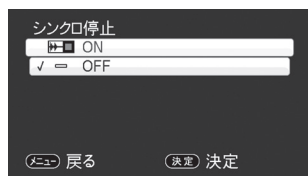
5 [経過時間] または [シンクロ停止] を設定する

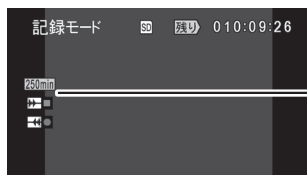
■ 経過時間

記録を開始してから、設定した時間が経過すると、自動で記録を停止します。

※連続：最長 12 時間で停止します。
ユーザー設定:1 ～ 380 分の間で設定します。

シンクロ停止

[ON] にすると、ビデオ機器から信号がなくなったことを検出し、検出してから 30 秒後に記録を停止します。

6 戻る（メニュー）を何度か押す

7

アイコンの表示を確認する

250min：経過時間（例：250 分）

：シンクロ停止

以上で、設定は完了です。

便利な使い方
メニュー一覧
困ったときには
付録

設定後の記録手順

シンクロ録画、自動停止を設定した場合の記録手順を説明します。

1 ビデオの再生を停止する

2 本製品の（開始/停止）を押す

⇒本製品が入力待ち受け状態になります。

の表示を確認する

3 ビデオを再生する

[再生] ボタンを押す

⇒自動で記録が開始されます。

以上で、完了です。
自動停止を設定している場合は、自動で記録が停止されます。

※自動停止を設定してない場合は、自動で停止されませんので手動で停止してください。

> **ビデオを再生してないのに、記録が開始される場合**
> 手順 1 でビデオの電源を切り、手順 3 でビデオの電源を入れ、再生を開始してみてください。

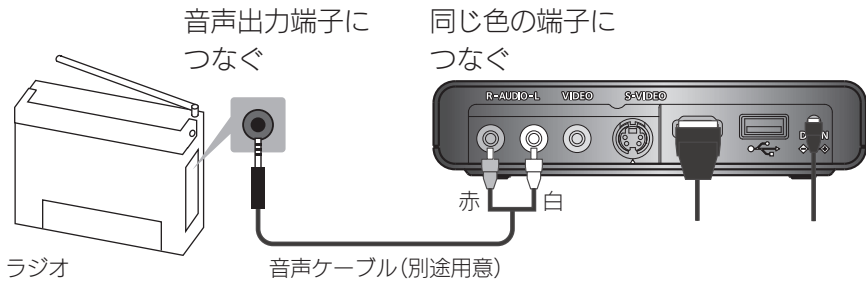
音声のみを記録(録音)する

ラジオやカセットデッキなどをつなぎ、音声を MP3 形式で記録（録音）できます。ビデオテープの場合、音声のみ記録します。

1. 記録モードを「録音（音声のみ)」に変更する

5 戻る メニュー を何度か押す

以上で、設定は完了です。
次にラジオやカセットテープをつなぎます。(次ページ参照)

2. ラジオやカセットテープをつなぐ

以上で、接続は完了です。
次に録音します。

3. 録音する

1 ラジオの電源を入れる

2 本製品の 開始/停止 を押し、録音を開始する

3 本製品の 開始/停止 を押し、録音を停止する

以上で、完了です。

タイマー予約をしたい場合

【タイマー予約する】（12 ページ）をご確認ください。

アイコンについて

画面にマイクのアイコンがある場合は、音声のみ記録されます。
この状態で映像を入力すると、映像が表示されますが、記録はされません。

タイマー予約する

設定した時間に合わせて記録できます。
以下では毎日予約の設定手順を説明します。

- **予約時間の 30 秒前までに待機状態にしてください**
  間に合わない場合はタイマー予約が働きません。手動で録音してください。
- **記録時間は 12 時間以内で設定してください**
- **1 回予約の場合、開始日時は 1 週間以内で設定してください**

1 [記録モード] 時に （メニュー／戻る） を押す

2 [記録] を選び、（決定） を押す

記録メニュー
REC 記録
共通
（メニュー） 戻る　（決定） 選択

3 [予約記録] を選び、（決定） を押す

4 [毎日予約] を選び、（決定） を押す

5 [開始時刻] を選び、（決定） を押す

便利な使い方
メニュー一覧
困ったときには
付録

6 方向ボタンで設定し、決定を押す

7 [停止時刻] を選び、決定を押す

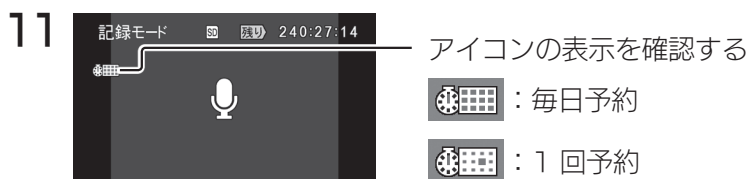
8 方向ボタンで設定し、決定を押す

9 [決定] を選び、決定を押す

10 戻る メニューを何度か押す

11 アイコンの表示を確認する

：毎日予約

：1 回予約

12 電源を長押し（2 秒以上）し、本製品の電源を切る

※電源が入っているとタイマー予約は有効になりません。

以上で、設定は完了です。タイマー予約の待機状態になります。

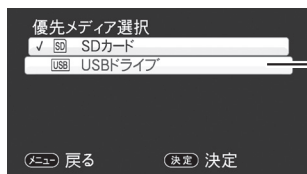
※ HDMI CEC（リンク機能）対応のテレビの場合、本製品の電源が入ると自動でテレビの電源も入ります。テレビの電源を入れたくないときは、本製品から HDMI ケーブルを抜いてください。

優先メディアを変更する

本製品に「SD カード」、「USB ストレージ」が両方セットしたときに、どちらを優先して記録・再生するか設定します。
※初期設定は「SD カード」です。
※「SD カード」または「USB ストレージ」の片方のみつなぐ場合は、本設定は不要です。

1 を押す

2 [共通] を選び、決定 を押す

3 [優先メディア選択] を選び、決定 を押す

4 [USB ドライブ]（または [SD カード]）を選び、決定 を押す

5 を何度か押す

6 アイコンの表示を確認する

SD：SD カード

USB：USB ストレージ

以上で、設定は完了です。

【再生編】

きれいに再生する

映像をきれいに再生することができます。

超解像	高い解像度ではっきり見えるように設定します。 ※解像度が 720 × 480 の動画を再生するとき、 　1280 × 720 相当の解像度にアップします。
手振れ補正	ビデオカメラの映像などで手振れが激しいときに設定します。

※映像によっては効果が出ない場合があります。
※本製品で記録した映像のみ有効です。

1 モード を押して、[再生モード] に切り替える

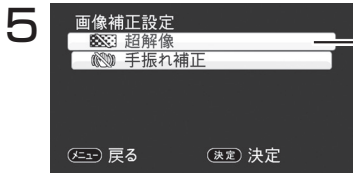
2 メニュー を押す

3

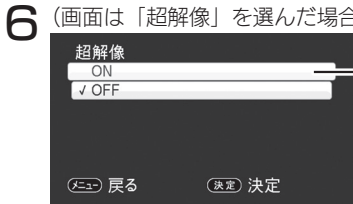
[再生] を選び、決定 を押す

4

[画像補正設定] を選び、 を押す

便利な使い方
メニュー一覧
困ったときには
付録

5 [超解像] または [手振れ補正] を選び、決定を押す

6 （画面は「超解像」を選んだ場合）

超解像
ON
√ OFF
メニュー 戻る
決定 決定

[ON] を選び、決定を押す

7

アイコンの表示を確認する

	ON（有効）	OFF（無効）
超解像		
手振れ補正		

※再生時にもアイコンがしばらく表示されます。

以上で、設定は完了です。

デジカメ写真をスライドショーで見る

映像を連続再生する

写真をスライドショーのように再生できます。
また、本製品で記録した映像を連続して再生できます。

1 モード（記録/再生）を押して、[再生モード] に切り替える

⇒

2 メニュー（戻る）を押す

3

[再生] を選び、決定を押す

4

[連続再生] を選び、決定を押す

5

①必要に応じて設定する
項目を選び、決定を押す

②[連続再生開始] を選び、決定を押す

（設定項目について）

動画	ON：再生します。 OFF：再生しません。
音声	
写真	
写真切り替え時間	各写真の表示時間を設定します。 早い：1 秒間 普通：5 秒間 遅い：10 秒間
BGM	あらかじめ本製品に用意された BGM を写真再生時に再生できます。 ON：音楽を再生します。 OFF：音楽を再生しません。

以上で、完了です。
※連続再生中は、本製品のどのボタンを押しても、連続再生が停止します。

再生中の詳しい操作について

再生中は、早戻しや早送りだけでなく、コマ送りやスロー再生もできます。

ご注意

テレビの音量調整は、テレビのリモコンでおこなってください。

ボタン	機能
∧ ∨	本体スピーカー（ヘッドホン）の再生音量を変更します。 ※本体スピーカー（ヘッドホン）の音量は、初期設定では「0」（消音）になっています。
< >	早送り、早戻しします。 押すごとに以下の倍速に切り替わります。 x2 / x5 / x10 / x15 / x30 / x60 / x90 / x120 倍速 一時停止中： コマ送り、コマ戻しします。 長押しでスロー再生します。
決定	再生を一時停止する / 一時停止から再生を再開します。
開始/停止	再生を停止し、記録選択画面に戻ります。

本製品以外で再生する

記録した映像は、本製品以外にテレビやスマートフォンなどで再生できます。

テレビで再生する

SD カードスロットがあり、MP4 形式の動画再生に対応しているテレビで再生できます。
ご使用のテレビの対応情報は、当社ホームページをご確認ください。

http://www.iodata.jp/pio/kaden.htm

スマートフォンなどで再生する

▼ iPhone/iPad/iPod touch の場合

① Apple 社製の SD カードリーダー（別途用意）に SD カードを入れ、iPhone などにつなぐ

② 「写真」アプリが起動するので、[読み込む] から、iPhone などに目的のデータを取り込む

③ iPhone などで、「写真」アプリで目的のデータを選び、再生する

▼ Android 端末の場合

① SD カードに記録されたデータを microSD カードにコピーする
※パソコンなどを使ってコピーしてください。または microSD カードにアダプターを装着すると、本製品でもコピーできます。(【記録をコピーする】(21 ページ) 参照)

② microSD カードを Android 端末に挿入し、動画再生アプリなどで目的のデータを再生する

※ microSD カードにアダプターを装着し、本製品の SD カードスロットに入れると、microSD カードに記録できます。
対応カード：
microSD カード、microSDHC カード
※最大 32GB まで対応しています。
※ microSDXC カードは対応していません。

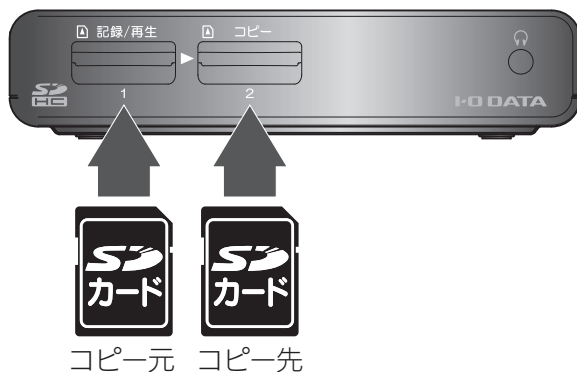
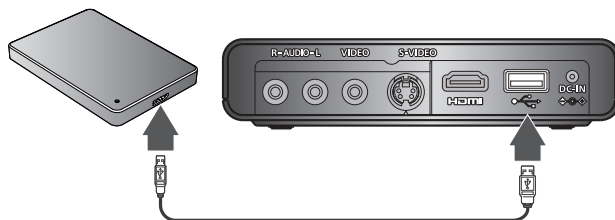
【その他】

記録をコピーする

「S Dカード」に入っているファイルを､別の「SD カード」または「USB ストレージ」にコピーします。
※再生モード時に表示されているファイルのみコピーできます。
　表示されていないファイルはコピーできません。
※ファイルは、コピー先の「SD カード」または「USB ストレージ」に
　追加で保存されます。

便利な使い方
メニュー一覧
困ったときには
付録

1 メディアを入れる

コピー元　コピー先

USB ストレージにコピーする場合

対応メディアについて

【仕様】（46 ページ）をご確認ください。

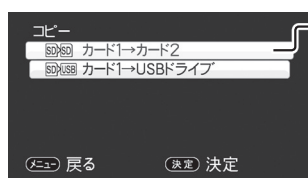
2 モード を押して、[再生モード] に切り替える

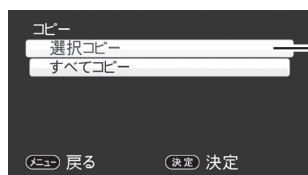
⇒

3 戻る メニュー を押す

4 [再生] を選び、決定 を押す

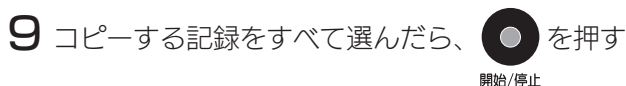
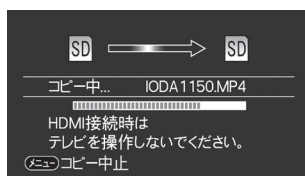
5 [コピー] を選び、決定 を押す

6 [カード 1 →カード 2] を選び、決定 を押す

※ USB ストレージにコピーする場合は、
[カード 1 → USB ドライブ] を選びます。

7 [選択コピー] を選び、決定 を押す

※すべての記録をコピーする場合は、
「すべてコピー」を選びます。

8

コピーする記録を選び、を押す

9 コピーする記録をすべて選んだら、を押す

⇒コピーが始まります。

コピーを中止する場合

を押してください。

現在コピー中のファイルを含めて、これ以降のファイルのコピーを中止します。

以上で、完了です。

ヘッドホンをつなぐ

本製品は初期設定でヘッドホン音量が「0」（消音）になっているため、ヘッドホンをつないでも音声が聞こえません。
ヘッドホンをつなぐ場合は、以下の手順で音量を変更してください。

▼「記録（ダビング）」と「再生」の両方をヘッドホンで聞きたいとき

1 モード（記録/再生）を押して、[再生モード] に切り替える

2 メニュー（戻る）を押す

3 [再生] を選び、決定を押す

4 [ボリューム] を選び、決定を押す

5 ∧ ∨ で音量を変更し、決定を押す

▼「再生」のみヘッドホンで聞きたいとき

再生中に、∧ ∨ ボタンを押し、音量を変更する

以上で、完了です。

音量変更後は、ヘッドホンを外すと、本体スピーカーから音声が出ます。
本体スピーカーから音声を出したくないときは、上記と同様の手順で、音量を「0」（消音）にしてください。

HDMI リンクの電源連動について

HDMI リンク（CEC）対応のテレビにつなぐと、本製品とテレビの電源が連動します。

※テレビの HDMI リンク（CEC）を有効にしておく必要があります。（操作はご使用のテレビの取扱説明書をご確認ください）

※ご使用のテレビによっては動作しない場合があります。

● 本製品の電源を入れると、テレビの電源が入り、入力が [HDMI] に切り替わる
（テレビの電源がすでに入っている場合は、入力が [HDMI] に切り替わる）

● テレビの電源をリモコンで切ると、本製品の電源が切れる
※記録中は電源が切れません。

メニューについて

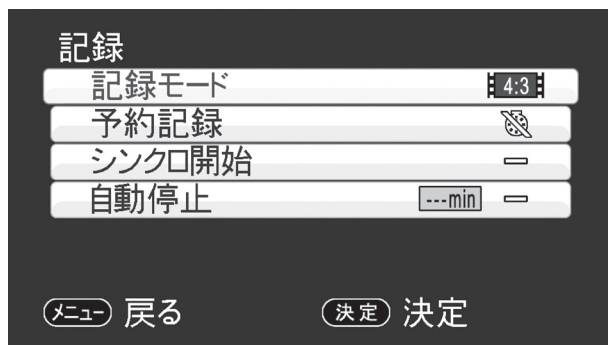
本製品には「記録」、「再生」、「共通」の3つのメニューあります。
モードにより表示するメニューが異なるため、以下のように開いてください。

▼「記録」メニューを表示する場合

▼「再生」メニューを表示する場合

▼「共通」メニューを表示する場合

※記録モード、再生モードのどちらからでも表示できます。

記録

項目	機能	参照先
記録モード	記録モードを設定します。 「録画 (4:3)」「録画 (16:9)」「録音（音声のみ）」から選びます。	5 ページ
予約記録	予約記録を設定します。 毎日もしくは、1 回予約が選べます。	12 ページ
シンクロ開始	本製品に信号が入力されたら自動的に記録が開始するように設定します。	6 ページ
自動停止	経過時間： 記録を開始後、設定した時間が経過すると、自動的に停止するように設定できます。	6 ページ
	シンクロ停止： 無信号を検出し、検出してから 30 秒後に自動的に記録を停止するように設定できます。	

記録モードの縦横比について

【4:3】
昔のテレビのような正方形に近い比率の映像です。アナログテレビ番組や 8 mmテープに録画された映像が該当します。

【16:9】
ワイド（横長）の映像です。ワイドモードで録画したビデオテープなどが該当します。※ D-VHS デッキなどで録画した場合等があります。

再生

再生
画像補正設定
コピー
消去
連続再生
ボリューム
メニュー 戻る　決定 決定

項目	機能	参照先
画像補正設定 ※	超解像： 動画を再生時に超解像技術により解像度をアップして高精細に表示します。	15 ページ
	手ぶれ補正： 動画を再生時にブレを補正して表示します。 ※上下左右が少し切れて表示されます。	
コピー	SD カードに記録された動画、音声や画像をコピーします。 「SD カード」→「SD カード」、または「SD カード」→「USB ドライブ」を選択します。	21 ページ
消去	記録を削除します。 「選択削除」または「全消去」を選択できます。	別紙「かんたんガイド」
連続再生	記録を連続して再生します。	17 ページ
ボリューム	本体スピーカーおよびヘッドホン出力の再生音量を変更します。 ※テレビの再生音量はテレビのリモコンで調整してください。	-

※本製品で記録した動画でのみ有効です。

共通

共通
日付時刻
操作音
優先メディア選択
HDMI出力
初期設定に戻す
フォーマット
メニュー 戻る　決定 決定

項目	機能	参照先
日付時刻	現在の日付時刻を設定します。 ※電源を切っても、設定内容を電池で保持します。	-
操作音	起動 / 終了、録画開始 / 停止、キー操作時に本体のスピーカーおよびヘッドホンから音を出力するか設定します。出力する場合の音量も設定できます。	-
優先メディア選択	記録時および再生時に、「SD カード」または「USB ドライブ」のどちらのメディアを優先するか設定します。	14 ページ
HDMI 出力	HDMI 出力の解像度を指定します。 （オート / 1080i / 720p / 480p）	-
初期設定に戻す	設定をご購入時に戻します。 ※日付時刻設定および予約設定は、保持します。	38 ページ
フォーマット	選択したメディアをフォーマット（初期化）し、本製品で記録できる状態にします。	37 ページ

よくあるトラブルを確認する

テレビに本製品の画面が表示されない

● HDMI ケーブルが正しくつながれているかご確認ください。
●テレビの入力を、テレビのリモコンで [HDMI] に切り替えてみてください。

本製品でテレビから出る音量を変更できない

●本製品の音量設定ではなく、テレビのリモコンで音量を調整してください。

テレビのリモコンで本製品を操作できない

●テレビの設定で「HDMI リンク（CEC)」を有効にしてください。

HDMI リンク（CEC）とは

HDMI に接続された機器をリモコンで一括コントロールする仕組みです。
「AQUOS ファミリンク」、「ブラビアリンク」、「ビエラリンク」、「レグザリンク」などと呼ばれます。
CEC 対応かどうかや操作については、ご使用のテレビの取扱説明書をご確認ください。

●ご使用のテレビによっては操作できない場合があります。

ビデオデッキ（ビデオカメラ）の映像が表示されない

●ビデオデッキに接続した端子が、出力端子かご確認ください。
●つないだビデオデッキの電源が入っているかご確認ください。
●ビデオテープが再生されているかご確認ください。
●ビデオデッキをテレビにつないでみて映像が映るかご確認ください。

ビデオデッキ（ビデオカメラ）の音声がきこえない

- ビデオデッキに接続した端子が、出力端子かご確認ください。
- 音声端子（赤と白（白のみでも可））のケーブルが正しくつながれているかご確認ください。
- ビデオ側で音量調整ができる場合、ビデオの音量を上げてみてどうかご確認ください。
- 消音になっていないかご確認ください。

記録した動画に音声は入っているが、映像は止まっている

- 入力されたビデオ信号の品質が悪い場合、本製品では映像が停止することがあります。これは本製品の仕様となります。

記録すると縦長の映像になる

- 入力された映像は 16：9 ですが、本製品の記録モード（縦横比）が 4：3 に設定されているためです。
  記録メニューの記録モードを変更してください。
  ⇒【縦横比を変更する】（5 ページ）参照

  ※記録モードを変更しても変わらない場合は、ビデオ側の出力モードをご確認ください。

本製品にヘッドホンをつないでも、音が聞こえない

- 本製品のヘッドホン音量は、初期設定で「0」（消音）になっています。
  音量を調整してください。
  ⇒【ヘッドホンをつなぐ】（24 ページ）参照

記録したファイルが分割される

- 1 回の記録でも､4GB を超えるごとにファイルが分割して保存されます。
  ※ 1 回の記録で分割されたファイルは､本製品では連続して再生されます。

デジカメ / ビデオカメラで撮影した写真を、本製品で再生できない

- 以下のピクセルサイズを超える写真は再生できません。
  横 3456 ピクセル x 縦 4608 ピクセル
- パソコンで編集した写真は再生できません。
- DCF 規格に準拠してない写真は再生できません。
  パソコンで、再生したい写真を以下の DCF 規格に準拠したフォルダー構成 / ファイル名に修正し、SD カードに保存しなおしてください。

> ・フォルダー名：
> WWWXXXXX（WWW：100 ～ 999 の数字、XXXXX：英数字）
> ・ファイル名：
> YYYYZZZZ.JPG（YYYY：英数字、ZZZZ：0001 ～ 9999 の数字）

【修正例】

① SD カードの「DCIM」フォルダーの中に、新規でフォルダーを作成し、「100ABCDE」※ と名前を付ける。

※「100」部分は他のフォルダーと違う数字にしてください。
同じ数字のフォルダーがあった場合、どちらのフォルダー内の写真も再生できません。

②「100ABCDE」フォルダーの中に、再生したい写真を保存する。

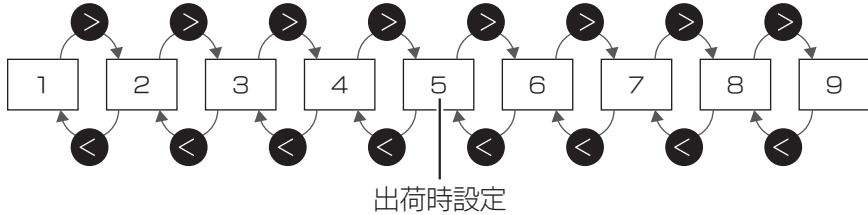
③写真のファイル名を、それぞれ「ABCD0001.JPG」、「ABCD0002.JPG」、「ABCD0003.JPG」、… に変更する。

日時を設定しても保持されない

- 本製品底面のテープが抜かれているかご確認ください。
- 電池が正しく装着されているかご確認ください。
- メニューの「共通」から日付時刻の設定をしなおしてみてください。
- 電池を交換してみてください。

記録した映像（音声）の音が小さい

- 記録モード時に左右ボタンで音声レベルを調整してください。
  ※記録中は調整できません。記録を開始する前に調整してください。

【音声レベルについて】
数値が大きくなるほど、音が大きくなります。

※音声レベルの設定値は画面に表示されません。

本製品の電源が勝手に切れる

- 本製品は、ボタン操作が 30 分間ないと、自動で電源が切れます。
  ※以下の場合は電源が切れません。
  ・記録中のとき
  ・再生中のとき
  ・アナログ映像信号の入力があるとき
- 本製品に HDMI ケーブルが接続されてない状態で電源を入れると、5 秒後に電源が切れます。
- 本製品の電源が入っているときに HDMI ケーブルを抜くと、5 秒後に電源が切れます。
  ※記録中は電源が切れません。

エラーメッセージが表示される

- 【エラーメッセージが出たら】（34 ページ）をご確認ください。

エラーメッセージが出たら

▼ SD カード /USB ストレージ共通

エラーメッセージ	説明と対処
コピーガード信号がありました。	本製品は著作権保護映像 (地上デジタル放送、BS/CS 放送、およびそれらを録画したレコーダーの映像、市販ビデオディスクなど) を記録することはできません。 著作権保護信号（コピーガード信号）を検出すると、記録を停止します。 また、テレビへの画面出力もできません。

▼ SD カードで使用しているとき

エラーメッセージ	説明と対処
このカードは使用できません。	カードが故障しているか、SDXC カードなど本製品に対応してないカードが挿入されています。 対応の SD カードを挿入してください。 ⇒【仕様】（46 ページ）参照
このカードは使用できません。 フォーマット後、お使いください。	SD カードのフォーマットが対応していません。 本製品でフォーマットしてから、お使いください。 ⇒【フォーマットする】（37 ページ）参照
カードロックされています。	SD カードの書き込み禁止スイッチがロックされています。 ロックを解除し、お使いください。
カード残量がありません。	SD カードに記録できる残量がありません。 別の SD カードを挿入してください。
録画保存数が超えました。 新しいカードをお使いください。	SD カード内に 999 個フォルダーがあり、各フォルダー内に 9999 個ファイルがある場合、本カードは使用できません。 別の SD カードを挿入してください。

▼ USB ストレージで使用しているとき

エラーメッセージ	説明と対処
この USB ドライブは使用できません。 フォーマット後、お使いください。	USB ストレージのフォーマットが対応しておりません。本製品でフォーマットしてからお使いください。 ⇒【フォーマットする】(37 ページ) 参照
この USB ドライブは使用できません。	USB ストレージが故障しているか、本製品に対応してない USB ストレージをつないでいます。 対応の USB ストレージをお使いください。 ⇒【仕様】(46 ページ) 参照
USB ドライブの残量がありません。	USB ストレージに記録できる残量がありません。別の USB ハードディスクを接続してください。
録画保存数が超えました。 新しい USB ドライブをお使いください。	USB ストレージ内に 999 個フォルダーがあり、各フォルダー内に 9999 個ファイルがある場合、本 USB ストレージは使用できません。 別の USB ストレージを挿入してください。

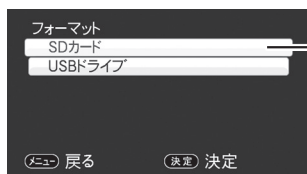
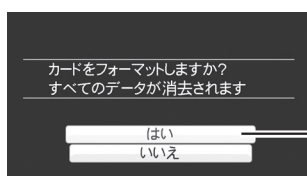
付録

以下の内容は別紙「かんたんガイド」で説明しています

- ●つなぐ
- ●SD カードを入れる
- ●記録（ダビング）する
- ●再生する
- ●不要な記録を削除する
- ●テレビリモコンでの操作について

フォーマットする

ご注意：メディア内のデータは削除されます

フォーマットするとメディア内のデータは消去されます。
必要なデータがある場合は、事前に別のメディアにコピーしてください。
また、フォーマットするメディア以外は本製品から取り外しておくことをおすすめします。

以上で、完了です。

初期設定に戻す

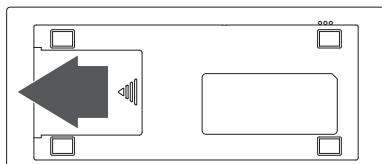
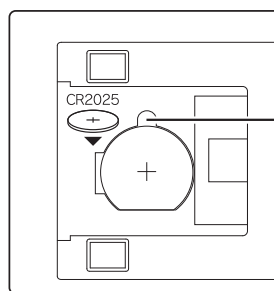
設定をご購入時に戻します。
※日付時刻設定および予約設定は、保持します。

以上で、初期設定に戻りました。

便利な使い方
メニュー一覧
困ったときには
付録

電池を交換する

日付時刻設定が保持されなくなったときは、電池を交換してください。
※本体の電源を切った状態でおこなってください。

1 本体底面のカバーを外す

2 古い電池を取り出す

3 新しい電池（CR2025）を入れる
※「+」側が見えるように入れてください。

4 カバーをはめる

5 本製品の電源を入れ、日付時刻の設定をしてください。
⇒別紙「かんたんガイド」参照

以上で、電池の交換は完了です。

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

⚠ 危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
⚠ 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

⊘	禁止
!	指示を守る

危険

本製品を修理・改造・分解しない

発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

警告

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない

感電の原因になります。

AC アダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない

水や洗剤などが AC アダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。

- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
- 水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
- 掃除は必ず乾いた布でおこなってください。
- 万一、AC アダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐに使うのを止める

そのまま使うと発火・感電の原因になります。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない

発火の原因になります。

故障や異常のまま、つながない

本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

電源（AC アダプター・コード・プラグ）について

AC アダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない

コードから発煙したり、発火の原因になります。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない

発火、発熱の恐れがあります。

電源コードや AC アダプターにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない

電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線 (電気の流れるところ) が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。

AC アダプターを抜くときは電源コードを引っ張らない

AC アダプター本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器につながない

発火や感電の原因になります。
添付の AC アダプターや電源コードは、本製品専用です。

コンセントまわりは定期的に掃除する

長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象)
トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない

発火の原因になります。

熱器具のそばに配線しない

電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない

テーブルタップの定格容量(「1500W」などの記載)を超えて使用すると、テーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

電池について

電池を乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す

漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。
また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。

●液が漏れたとき
→漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。
　乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
●液が目に入ったとき
→目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
●液が体や衣服についたとき
→すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。

電池について、以下のことに注意する

故障、発熱、破裂、発火、液漏れにより、けがややけどの原因になります。

- 指定の電池以外は使わないでください。
- 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
- （+）（−）を逆にセットしないでください。
- （+）（−）を金属類で短絡させたり、はんだ等を使わないでください。
- ネックレスやヘヤピン等の金属と一緒に持ち運ばないでください。
- 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
- 容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わないでください。
- 電池を使い切ったときや、長時間使わないときは取り出してください。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
- 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

注意

長時間にわたり一定の場所に触れ続けない

本製品を一定時間使うと、本製品が熱く感じる場合があります。
長時間にわたり一定の場所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

本製品を踏まない

破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

電源（AC アダプター・コード・プラグ）について

人が通行するような場所に配線しない

足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上のご注意

SD カードの取り扱いについて

- 使用直後のカードは高温になることがあります。ＳＤカードの取り外しは、本製品の電源を切り、SD カードの温度が下がるのを待ってからおこなってください。
- ＳＤカードは精密部品です。曲げる、強いショックを与える、落とすなどしないでください。
- 極端に高温や低温になる場所、直射日光のあたる場所、しめきった車の中、暖房器具のそば、湿気やほこりの多い場所での使用や保管は避けてください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところでの使用や保管は避けてください。
- ズボンのポケットに入れないでください。座った時などに力が加わり、壊れることがあります。
- 他の機器で使用していたカードや、未使用のカードは、必ず本製品で初期化（フォーマット）してからご使用ください。
- ＳＤカードの取扱説明書もよくお読みください。

大切なデータを守るために

- 大切なデータは別のメディア（ハードディスク、DVD など）へコピーすることをおすすめします。
- 動作中にケーブルを抜いたり、激しく動かしたりしないでください。
- ＳＤカードや USB ストレージを正しく接続してください。
- 本製品のコネクター部分には直接手を触れないでください。
- 記録中や再生中、データのコピー中などに電源を切らないでください。

※本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの補償は一切いたしかねます。

その他

- 記録について
  - ・必ず事前に試し記録をして、正常に記録されることを確認してください。
  - ・本製品を使用中、万一これらの故障や不具合により記録できなかった場合の記録内容の保証については、ご容赦ください。
  - ・本製品の動作中に停電などが発生すると、記録した内容が消去される場合があります。
- 本製品で記録した映像・音声を個人の観賞以外の目的で使用しないでください。
- ポータブルハードディスクによっては、電源供給能力が低く動作が安定しない場合があります。その場合はポータブルハードディスクに AC アダプターを接続してお使いください。
- 本製品の USB ドライブ端子は、USB ハブには対応しておりません。
- ボタン電池の廃棄とリサイクルについて
  電池を捨てる時は地域の条例にしたがって処分してください。
  プラス極とマイナス極にテープを貼り絶縁状態にしてから廃棄してください。
  また、リサイクルにご協力ください。

便利な使い方
メニュー一覧
困ったときには
付録

各部の名称

▼前面

▼背面

▼天面

仕様

端子	ビデオ入力	S ビデオ入力：ミニ DIN4 ピン× 1 コンポジットビデオ入力：RCA ピン× 1
	オーディオ入力	外部ライン入力：RCA ピン（L/R）×各 1
	HDMI 出力	Type A × 1 CEC 対応
	ヘッドホン出力	ステレオミニジャック× 1
	メモリースロット	SD カードスロット（記録・再生用）× 1 SD カードスロット（コピー用）× 1
	インターフェース	USB 2.0 ホスト× 1
スピーカー	内蔵スピーカー	モノラル
対応メディア	●対応カード SD メモリーカード、SDHC メモリーカード ※最大 32GB まで対応しています。 ※ SDXC カードは対応していません。 ●対応 USB ストレージ USB ポータブルハードディスク、USB メモリー ※ FAT32 形式に対応しています。 ※ 2TB を超える容量のストレージ、パスワードロックや暗号化されたストレージには対応していません。	
外形寸法	約 139（W）× 32（D）× 60（H）mm（突起部のぞく）	
質量	約 150g（ボタン電池含む、AC アダプター除く）	
電源	AC アダプター DC5V /1.5A	
消費電流	約 330mA（本体のみ）	
使用温度範囲	5 ～ 35℃	
使用湿度範囲	20 ～ 80%（結露なきこと）	
各種規格取得	VCCI Class B、RoHS 指令準拠、 電気用品安全法（AC アダプター）	

▼記録仕様

		録画（4：3、16：9）	録音(音声のみ)
記録	記録方式	MPEG-4 AVC/H.264 (MP4)	-
	画像サイズ	720 × 480	-
	フレームレート	60fps	-
音声	記録方式	AAC	MP3
	サンプリングレート	48kHz	48kHz
	ビットレート	256kbps	256kbps

▼対応フォーマット

動画	MP4	本製品で記録した「動画・音声」のみサポート
音声	MP3	
写真	JPEG	表示再生不可能なファイルは「?」のアイコンで表示されます。 ※以下のピクセルサイズを超える写真は再生できません。 横 3456 ピクセル x 縦 4608 ピクセル ※パソコンで編集した写真は再生できません。

※対応フォーマットでも、すべてのファイルが再生できるわけではありません。
※本製品では、写真（静止画）の記録はできません。

▼ SD カードへの記録時間（目安）

SD カード容量	ビデオテープ	カセットテープ
4GB	約 1 時間 15 分	約 30 時間
8GB	約 2 時間 30 分	約 60 時間
16GB	約 5 時間 15 分	約 125 時間
32GB	約 10 時間 30 分	約 250 時間

▼自動電源オフ機能について

- 本製品は、ボタン操作が 30 分間ないと、自動で電源が切れます。
  ※以下の場合は電源が切れません。
  ・記録中のとき　・再生中のとき　・アナログ映像信号の入力があるとき
- HDMI ケーブルが接続されてないときに電源を入れると、5 秒後に電源が切れます。
- 電源が入っているときに HDMI ケーブルを抜くと、5 秒後に電源が切れます。
  ※記録中は電源が切れません。

アフターサービス

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

- **【困ったときには】を参照（30 ページ参照）**
- **サポートページのQ&Aを参照**
- **最新のソフトウェアをダウンロード**

http://www.iodata.jp/support/

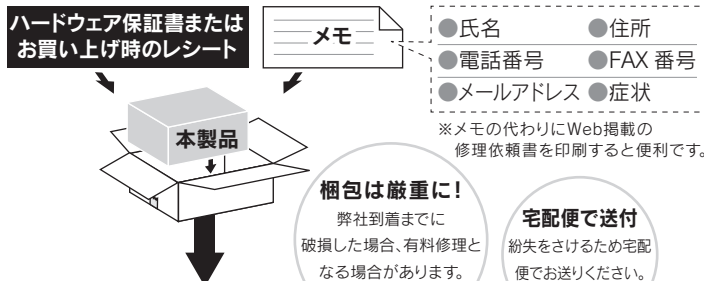
それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話： 050-3116-3015
※受付時間　9：00～17：00　月～日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）
FAX： 076-260-3360
インターネット： http://www.iodata.jp/support/

個人情報の取り扱いについて

個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（http://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

- 送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内します。（見積無料）
  金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
  バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品を送る前に製品名とシリアル番号（S/N）を控えてください。

修理について詳しくは以下をご確認ください。

http://www.iodata.jp/support/after/

便利な使い方
メニュー一覧
困ったときには
付録

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1. 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ時より 12 ヶ月、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2. 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3. 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

1）レシートや納品書に記載されたご購入日から 12 ヶ月の保証期間が経過した場合
2）火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
3）お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
4）接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
5）取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
6）合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
7）弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
8）弊社が寿命に達したと判断した場合
9）保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
10）その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4. 修理

1）修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2）発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3）本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4）弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5. 免責

1）本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
2）弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
3）本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6. 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいて本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。　Our company provides the service under this warranty only in Japan.

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、別段の定めの無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) お客様が録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- SD、microSD ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- 一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。